

住民防災講座

安全部会の報告でも述べましたが、9月は防災月間です。

今年も日本に台風が多く接近し、大雨や猛烈な風に遭遇しています。避難の警報も各地で発令されています。安全を確保する習慣の少ない小布施町で、この警報が出たら、どう行動しますか。停電になったらどう行動しますか。

最近の防災を住民自身が自助・共助・緊急行動するためのタイムラインをどう理解すればよいかなどについて

まちづくり委員会では例年メイン会場の大通り物産展エリア内にブースを設け、各部会の事業紹介を行っています。ぜひお立ち寄りの上、当会の進捗状況のご理解を深めていただければ幸いです。

いて専門家から学ぼうと、次のとおり防災講座を計画しました。ぜひご参加ください。

住民防災講座

平成30年12月8日(土)
 午後1時30分から3時30分
 会場 小布施町立図書館
 まちとよテラス
 講師 廣内大助氏
 信州大学教育学部教授
 自然地理学研究室
 主催 安全を考える部会




まちづくり委員会の六斎市出展

編集長の声

7/27 運営委員会開催
 今年度第三回の運営委員会が開催され、広報のボイス21号の編集計画が提案されました。今年度の「第五回語り」が秋に予定となっているので、9月20日発行の町の広報誌にボイス21号の折り込みを準備することで発行案が了承されました。

小布施まちづくり委員会は、町の課題を行政や議会、そして町民が共に解決していくための協働の仕組みの一つとして、さまざまな活動に取り組んでいます。心を寄せ合いながら、語り合いながら新たな諸問題を解決していく、住みやすいまちづくりや仲間づくりをしていきたいと考えています。

先日高校3年生が一人入会しました。大学へ行く前に住民で討議する現在のまちづくりの様子を学んでみたいとのことでした。16歳以上の方から入会できます。遠慮なくお出かけください。

あなたも「まちづくり委員会」に参加しませんか!

様々な立場の人が自由に意見を交わし、住みよいまちづくりを考え実践する場として、平成20年にスタートしました。「安全」「環境」「福祉」「交流」「共育」「定住促進」の6つのテーマごとに部会を設け、月に1回くらいのペースで集まって活動しています。そんなまちづくり委員会にあなたも参加してみませんか。参加をご希望の方は、下記事務局へお申し込みください。

小布施まちづくり委員会事務局
 Tel:026-214-9102
 Fax:026-247-3113
 E-mail: kouryuu@town.obuse.nagano.jp

編集後記

《図上避難ゲーム》皆さんがいざという時に、使える形にしたいと思います。(安全・塩尻)

空梅雨に猛暑、年々厳しくなる自然環境。そんな中でも自然に寄り添い。(環境・工藤)

猛暑の続いた夏も終わり、いよいよ爽やかな秋です！おいしいフルーツの差し入れ、待ってま〜す！(福祉・花村)

町中で大きな被害をもたらした台風21号。被害に遭われた皆さまにお見舞い申し上げます。(共育・市村)

猛暑の中、ビアイベント、スイカ割と楽しんでいただき、夏の行事が一段落し、ほっと一息。(交流・幸川)

今年の六斎市も来月に迫った。まちづくり委員会の活動が待たれる。今年度は町外からの来訪者が「六斎市をどう評価しているのか」聞いてみたい。(内山)

雨不足、猛暑の次は25年ぶりの大型台風、自然とどう向き合って生きるかをみんな考えましょう。(安財)

当会に高校3年生が入会しました。大歓迎です。年の差がウン十歳も違いますが同じ仲間です。よろしく!!(吉田)

信州の夏が涼しい時代はもう終わったのでしょうか。関西人。(奥田)

イベント報告 「第8回ビアイベント」を終えて

交流を考える部会

第8回「ビアイベント」も皆様のご支援とご協力を得て、無事盛会のうちを終えることができました。スタッフ一同、胸をなで下ろして、2011年に東日本大震災復興支援の一環として始めたイベントですが、今回より、そのテーマ



部会長 芋川恵子

(目的)を復興支援から小布施町の夏の交流イベントに変更しました。今回は、その趣旨に沿って楽しんでいただけたものと自負しております。

市村町長からせっかくから10回までは続けてほしいとのエールを頂き、新たな形で東京オリンピックの年まで、万難を排して継続するつもりです。引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

2020年以降も、小布施の夏の風物詩の一つとして定着する事を祈っています。(副部会長 久保勝)

講演+意見交換+交流~先輩のみなさんをお迎えして~ 小布施まちづくり語らい座

第5回講師 唐沢彦三さん
 前小布施町長
 特定非営利活動法人パウル会理事長
 特定医療法人新生病院理事長

平成30年 11月22日(木)
 講演「心をつなぐまちづくり」
 18:30 ~ 20:00 参加無料(予約不要)
 小布施町公民館講堂(町役場3階)

詳しい内容は、町報おぶせ10月号と一緒に全戸配布のチラシをご覧ください。

【お問い合わせ】
 小布施まちづくり委員会事務局 (小布施町役場企画政策課内)
 Tel: 026-214-9102 Fax: 026-247-3113
 E-mail: kouryuu@town.obuse.nagano.jp



テン・ショウホンさんの歌(左)と久遠さんのサクソ演奏(右)

福祉を考へる部会

若者会議と共同して

福祉部会では、これまでの人生を振り返ることにより未来の人生をより充実した内容の目標や計画が出来ることを考え、若者会議「教育福祉プロジェクト」で行った『自分史入門講座』のお手伝いに参加をさせていただきました。通常ですと5回1セットの内容の研修なのですが、今回は2回に集約

部会長 花村一三

若者会議の今後の活動計画を確認し、自分史についてより住民に周知していければと考えています。



定住促進を考へる部会

空き家問題の本質

小布施町ではまだそれほど空き家問題は顕在化していません。しかし「これまでは大丈夫だったから、これからも大丈夫」とは言えません。小布施に限らず日本中どこでもそうですが、家を新たに購入する際には、農地や原野のように開発し

部会長 横山雄一

が1件増えるのに世帯数が増えないと、空き家候補が1件増えることになりやすよね？ 小布施町の人口は2005年以降減り続け、22年後の2040年には7813人(2010年の約7割)になると推計されています。そうなれば世帯数もそれなりに減るはずですが、それなのに元々ある住宅はそのまま、新築の家は

から、空き家予備軍は増えて当然です。全国的な統計によると、日本の空き家率は2013年には13・5%だったのが、このままでは15年後の2033年には30・2%になると予測されており、3戸に1戸が空き家という将来が待っているそうです。小布施町は大丈夫なんでしょうか？。あなたの家は大丈夫ですか？

共育を考へる部会

脳科学リーフレットが完成しました！

脳科学リーフレット「乳幼児期を大切に脳をしっかりと育てよう」が完成しました。これは乳幼児期の子どもの成長が重要であることを多くの保護者や市民の皆さんに理解してほしいとの取り組みをかたちにしたものです。すでに6月28

部会長 市村良江



日のお子様の検診時にブックファーストと一緒に配布させていただきました。中身を少しご紹介いたします。子どもたちの人思いやる気持ちが育つためには脳のセロトニン神経がしっかりとつくれることが大切です。セロトニン神経は生後5年間に作られます。リーフレットでは、このセロトニン神経が育つために必要な大切にしてほしい4箇条、1「早寝、早起き」2「朝ご飯」3「体を動かす遊び」4「たくさん話しかける」について簡単に説明しています。

お子さんを抱っこしながらでも簡単に手に取れ、読めるように工夫してあります。乳幼児期のお子様を持つ保護者の皆様には、ぜひ参考にしてほしいと思います。

生ごみリサイクル土づくりとめぐる元気野菜の普及活動

環境を考へる部会の活動では、今年度も生ごみリサイクル土作り、めぐる元気野菜の普及活動を行っています。

生ごみを有効活用し、微生物を使った(菌ちゃん)農法をさらに広げるために6次産業センター内に「菌ちゃん農園」を設け、ごなたでも参加できる菌ちゃん

ファンクラブ(随時募集中)として活動しています。

栗が丘小学校では毎年4年生と土作り、伝統野菜小布施丸ナスの栽培を行い、子どもたちとお世話をしています。今年も7月にはみんな丸ナスを収穫することができました。子どもたちは夏休み中も自分で水くれ当番を決め、野

菜と向き合ってくれました。この経験は、みんなの記憶に残ってくれているものと思います。

9月29日(土)6次産業センターにて「菌ちゃん農園野菜まつり」を実施し、ぼかし作り実演、野菜たっぷり豚汁振るまい、めぐる元気野菜の販売などを行います。皆さまぜひお出かけください。参加無料です。

また、来年度には、第2回農と食を考へる講演会も予定しています。

安全を考へる部会

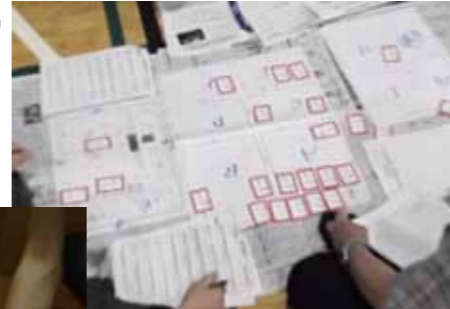
9月は防災月間

9月は防災月間です。小布施町では6月の防災訓練を活かし、今後起きることが予想される巨大地震など、緊急時に対する備えは必要です。地震があった場合の初動対応を各ご家庭でお持ちの「防災マニュアル」を参考に、各自の行動を確認するようお願いいたします。お手元がない方はご紹介し

ます。また消防庁のホームページでも「地震にあったら」というページがあります(3ページ参照)。安全部会では昨近の「災害と災害からの生活取戻し」に視点を置いて議論しています。中でも災害の発生が極めて少ない小布施で、あっても、地震や水害の備えが必要であろうと思えます。そこで専門家に加わっていただき、災害発生後の避難訓練を模擬体験するゲームを検討中です。また、想定外の気候変動が頻繁に報道され、急激に警報が出され戸惑うばかりですが、12月に詳しい解説を専門講師に講演していただけるよう取り組んでいます。

部会長 塩尻利一

自主防災会連絡協議会のHUG



まちづくり委員会のHUG



HUGは、H(hinanzo 避難所)、U(unei 運営)、G(game ゲーム)の頭文字を取ったもので、英語で「抱きしめる」という意味です。避難者を優しく受け入れる避難所のイメージと重ね合わせて名付けました。避難所運営ゲーム Evacuation center management game

【お知らせ】

9月は防災月間です。東日本大震災での教訓を活かし、今後おきることが予想される首都直下型地震、南海トラフ巨大地震など、緊急時に対する備えは、その後の事業継続において必要です。地震があった場合の初動対応を消防庁「防災マニュアル」を参考に、各社、各自の行動を確認してください。

■地震があったら 防災地図から対応を見る
http://www.fdma.go.jp/bousai_manual/occ/occurrence000.html

1. 屋内編
①一般住宅、②マンション、③職場、④スーパー・デパート、⑤映画館・劇場、⑥地下街、⑦学校、⑧エレベーター
http://www.fdma.go.jp/bousai_manual/occ/occurrence110.html

2. 屋外・乗り物編
＜屋外編＞ ①住宅地、②オフィス街・繁華街、③海岸、④川べり、⑤山・丘陵地
＜乗り物編＞ ①運転中の場合、②鉄道、③新幹線、④地下鉄、⑤バス
http://www.fdma.go.jp/bousai_manual/occ/occurrence210.html

3. 揺れが収まったら
http://www.fdma.go.jp/bousai_manual/lat/later10.html

4. 地震が起きる前に
http://www.fdma.go.jp/bousai_manual/pre/preparation010.html

5. 防災お役立ちツール
http://www.fdma.go.jp/bousai_manual/too/tool.html

※消防庁「防災マニュアル-震災対策啓発資料-」は以下全文公開中
http://www.fdma.go.jp/bousai_manual/index.html

菌ちゃん農園 野菜まつり
2018年9月29日(土)10:00~12:00
小布施町6次産業センター(ろくさん)

10:00~雑花生産
11:00~ぼかし作りプラ講座

小布施まちづくり委員会 環境を考へる部会
お問合せ先:小布施まちづくり委員会事務局(小布施駅前会館2階3号室) Tel:026-214-9102/Fax:026-247-3113

菌ちゃん農園野菜まつり